



ことわざ

組
番
名前
点



次のことわざの()に合う言葉を、[]から選んで書きましょう。また、ことわざの意味として合うほうに○をつけましょう。

(10点×10)

① () ()の手も借りたい

意味
 「どんな手伝いでもほしい。
 「全員に手伝ってほしい。

② 泣きつつらに () ()

意味
 「不幸のあとには、よいことがあること。
 「不幸なことが重なること。

③ 花より () ()

意味
 「利益より美しさをとること。
 「美しさより利益をとること。

④ 頭かくして () ()かくさず

意味
 「一部をかくして、全てをかくした気であること。
 「全てをかくすことで、一部をかくしていること。

⑤ 転ばぬ先の () ()

意味
 「不必要なものを用意しておくこと。
 「あらかじめ十分な用意をしておくこと。

はち	ねこ	しり
だんご	品	つえ



ことわざ

組番

名前

点

新学社

4年-12



次のことわざの()に合う言葉を、[]から選んで書きましょう。また、ことわざの意味として合うほうに○をつけましょう。

(10点×10)

① () **ねこ** ()の手も借りた

意味
○ 「どんな手伝いでもほしい。」
「全員に手伝ってほしい。」

② 泣きつつらに () **はち** ()

意味
○ 「不幸のあとには、よいことがあること。」
「不幸なことが重なること。」

③ 花より () **だんご** ()

意味
○ 「利益より美しさをとること。」
「美しさより利益をとること。」

④ 頭かくして () **しり** ()かくさず

意味
○ 「一部をかくして、全てをかくした気であること。」
「全てをかくすことで、一部をかくしていること。」

⑤ 転ばぬ先の () **つえ** ()

意味
○ 「必要なものを用意しておくこと。」
「あらかじめ十分な用意をしておくこと。」

はち **ねこ** **しり**

だんご **品** **つえ**



三年でならったぜんかんじ

組

番

名前

新学社

/76

3年-29



□にかんじを書きましよう。()には、かんじとおくりがなで書きましよう。

1 かぜが () する。
★わるくなること。

2 おぼえたら () があらい。

3 () をとく。

4 () のお () さん。

5 () 図書 () になる。

6 () 前 () 行。

7 () 大学 () であたらく。

8 () 父 () を () のむ。

9 () 木 () を () 。

10 () () を () おくる。

11 () () をふく。

12 () ニ () にある教室。

13 () ダリアの () () 。

14 () () にいもを () 。

15 () () のない話。

16 () () 計ではかる。

17 () () でマスクをかう。

18 () () 体てきな理 () 。

19 () () 地図を見る。

20 () 電車の () 。

21 () 前もって () する。

22 () 水 () () 。

23 () () した通りだ。

24 () () にふえる。

25 () () にとまる () 。

26 () () がわを () 。

27 () 四年生に () する。

28 () 科学の () 。

29 () 王 () が () 。

30 () () をわたる。

31 () () 年よりも () 。

32 () () を () 。

33 () () が () 。

34 () () に () がよせる。

35 () () の王 () 。

36 () 日本 () の中 () 。

37 () () で () 。

38 () 本の () ニ () を読む。

39 () () 生まれの父。

40 () () のゴミを () 。

41 () () 字を () する。

42 () () の () になる。

43 () 家の () の () 。

44 () 道を () 。

45 () 国外 () () する。

46 () () を手に () 。

47 () 手 () にメモを () 。

48 () () は () だ。

49 () () パソコンを () する。
★きかいのスイッチを入れ
立ち上げること。

50 () () の () がむける。



三年でならったぜんかんじ

組番名前



□にかんじを書きましよう。()には、かんじとおくりがなで書きましよう。

1 かぜが**悪化**する。
★わるくなること。

2 **鼻息**があらう。

3 **暗号**をとく。

4 **歯**のお**医者**さん。

5 **図書****委員**になる。

6 **駅**前**銀行**。

7 **大学****病院**ではたらく。

8 **父**が**酒**を**飲む**。

9 **木**の**板**を**運ぶ**。

10 **荷物**を**送る**。

11 **横笛**をふく。

12 **二階**にある**教室**。

13 **ダリア**の**球根**。

14 **畑**に**いも**を**植える**。

15 **意味**のない**話**。

16 **温度**計ではかる。

17 **薬局**で**マスク**をかう。

18 **具**体**理由**。

19 **世界****地図**を見る。

20 **電車**の**乗客**。

21 前もって**予想**する。

22 **水泳**を**始める**。

23 **期待**した**通り**だ。

24 **急速**に**ふえる**。

25 **旅館**にとまる。

26 **反対**が**わを****向く**。

27 **四年生**に**進級**する。

28 **科学**の**研究**。

29 **王様**が**死ぬ**。

30 **鉄橋**をわたる。

31 **去年**よりも**寒い**。

32 **洋服**を**着る**。

33 **商品**が**安い**。

34 **岸**に**波**がよせる。

35 **君主**の**王宮**。

36 **日本****列島**の**中央**。

37 **決勝**で**負ける**。

38 **本**の**第二章**を**読む**。

39 **昭和**生まれの**父**。

40 **全部**の**ゴミ**を**拾う**。

41 **漢字**を**練習**する。

42 **県**の**代表**になる。

43 **家族**の**写真**。

44 **道**を**曲がる**。

45 **国外**へ**追放**する。

46 **筆箱**を**手に持つ**。

47 **手帳**に**メモ**を**取る**。

48 **神**は**平等**だ。

49 **パソコン**を**起動**する。
★きかいのスイッチを入れ立ち上げること。

50 **指**の**皮**が**むける**。



三年でならったぜんかんじ

組

番

名前

新学社



□にかんじを書きましよう。()には、かんじとおくりがなで書きましよう。

1 自分の()を()する。
 2 親()に()する。
 3 木の()が()する。
 4 ()に()とまる。
 5 花()を()かか()り。
 6 ()色の()まめ()。
 7 ()石()を()なげる。
 8 ()の()ながめ。
 9 東京()と()二十三()く()あける。
 10 金()を()すむ。
 11 九()に()。
 12 ()のある道()ろ()。
 13 ()そこ()が()お()さら()。
 14 ()の()話()を()読む。
 15 ()名()な()お()ま()つ()り()。
 16 石()を()用()する。
 17 ()組()み()を()する。

18 今年()の夏()は()あ()つ()い()。
 19 ()を()た()す()け()る()。
 20 太()陽()の光()が()そ()そ()く()。
 21 草()原()に()を()あ()つ()め()る()。
 22 校()で()こ()ろ()ぶ()。
 23 石()の()ス()ト()ー()プ()を()け()す()。
 24 お()を()も()う()す()。
 25 ()時()計()は()し()ら()。
 26 二()の()せ()き()。
 27 北()海()道()で()を()見()る。
 28 ()を()あ()ら()た()め()る。
 29 ()に()く()ら()す()。
 30 ()を()学()ぶ()。
 31 お()し()ば()い()の()は()い()やく()。
 32 ()強()を()お()え()る。
 33 ()が()お()そ()く()な()る()。
 34 ()を()と()く()。
 ★やくのわりふりのこと。
 ★海や川の上にかがこおりのこと。

35 ()の()形()。
 36 ()の()気()が()引()く()。
 37 高()い()山()に()の()ぼ()る()。
 38 ね()ら()い()を()さ()だ()め()る()。
 39 ()の()人()に()聞()く()。
 40 ()ボ()ー()ル()を()う()つ()。
 41 ()思()い()を()す()る()。
 42 テ()ス()ト()を()う()け()る()。
 43 新()し()い()見()を()す()る()。
 44 よ()ろ()こ()び()を()す()る()。
 45 ()に()お()を()わ()か()す()。
 46 ()の()公()園()で()あ()そ()ぶ()。
 47 ()が()ふ()え()る()。
 48 ()め()い()を()あ()げ()る()。
 49 ()目()ち()ょう()。
 50 ()十()後()び()ょう()。



三年でならったぜんかんじ

組番名前



□にかんじを書きましよう。()には、かんじとおくりがなで書きましよう。

□1 自分の身を守る。

□2 両親に相談する。

□3 木の葉が落ちる。

□4 宿屋にとまる。

□5 花を育てる係。

□6 緑色の豆。

□7 軽い石を投げる。

□8 美しいながめ。

□9 東京都二十三区。

□10 金庫を開ける。

□11 九州に住む。

□12 坂のある道路。

□13 そこが深い皿。

□14 昔の童話を読む。

□15 有名なお祭り。

□16 石炭を使用する。

□17 仕事を調整する。

□18 今年の夏は暑い。

□19 命を助ける。

□20 太陽の光が注ぐ。

□21 草原に羊を集める。

□22 校庭で転ぶ。

□23 石油ストーブを消す。

□24 お礼を申す。

□25 柱時計。

□26 二倍の面せき。

□27 北海道で流水を見る。
★海や川の上にかぶこおりのこと。

□28 短所をあらためる。

□29 幸福にくらす。

□30 農業を学ぶ。

□31 おしばいの配役。
★やくのわりふりのこと。

□32 勉強を終わる。

□33 返事がおそくなる。

□34 問題をとく。

□35 詩の形式。

□36 血の気が引く。

□37 高い山に登る。

□38 ねらいを定める。

□39 他の人に聞く。

□40 ボールを打つ。

□41 苦しい思いをする。

□42 テストを受ける。

□43 新しい発見をする。

□44 よろこびを実感する。

□45 次にお湯をわかす。

□46 港の公園で遊ぶ。

□47 体重がふえる。

□48 悲しみをあげる。

□49 一目。

□50 十秒後。



漢字の組み立て

組
番
名前

点

1

次の部分をもつ漢字を、から選えらんで書きましょう。

(10点×8)

① くさかんむり： () () () ()

② まだれ： () () () ()

③ もんがまえ： () () () ()

④ こころ： () () () ()

店 意 間 荷 話 茶
 開 回 兄 感 庫 代

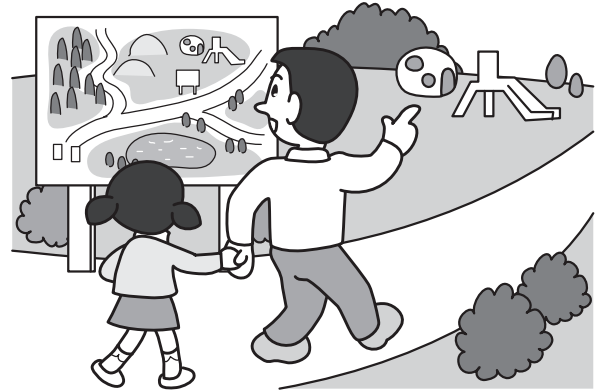
2

次の漢字に共通する部分の名前を、ひらがなで書きましょう。

(10点×2)

① 囟・園 () ()

② 道・通 () ()





漢字の組み立て

組
番
名前

点

1

次の部分をもつ漢字を、から選んで書きましょう。

採点基準 それぞれ順番が違っても正答。

(10点×8)

① くさかんむり：(茶)・(荷)

② まだれ：(庫)・(店)

③ もんがまえ：(間)・(開)

④ こころ：(感)・(意)

茶 話 荷 間 意 店
代 庫 感 兄 回 開

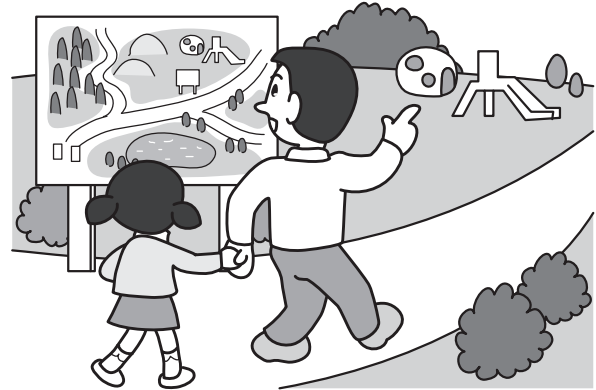
2

次の漢字に共通する部分の名前を、ひらがなで書きましょう。

(10点×2)

① 凶・園 (くにがまえ)

② 道・通 (しんにょう)





漢字の組み立て

組
番
名前

点

新学社

1 次の漢字の部分は、何にかんけい関係のあることを表していますか。
 んで、記号で答えましょう。

(20点×2)

① 凵 ()

② 宀 ()

ア 家に関する。
 イ 火に関する。
 ウ 天気に関する。
 エ 草に関する。

2 次の漢字に共通する部分の名前を、ひらがなで書きましょう。
 (15点×4)

① 雲・雪 ()

② 泳・流 ()

③ 休・使 ()

④ 都・部 ()





漢字の組み立て

組
番
名前

点

新学社

1 次の漢字の部分は、何にかんけい関係のあることを表していますか。
 んで、記号で答えましょう。

(20点×2)

① 𠄎 (イ)

② 宀 (ア)

ア 家に関する。
 イ 火に関する。
 ウ 天気に関する。
 エ 草に関する。

2 次の漢字に共通する部分の名前を、ひらがなで書きましょう。
 (15点×4)

① 雲・雪 (あめかんむり)

② 泳・流 (さんずい)

③ 休・使 (にんべん)

④ 都・部 (おおぞと)





漢字辞典じてんの使い方

組
番
名前

点

新学社

1 次の漢字辞典の使い方で調べられる漢字を、 から選えらんで書きましよう。
(15点×4)

① 総そうかく画さくいで「九画」を調べる。

()

② 音訓おんくんさくいで「ワ」を調べる。

()

③ 部首さくいで「しめすへん」の部を調べる。

()

④ 音訓さくいで「ね」を調べる。

()

根 社 炭 院 守 和

2 「 」の漢字の中から、部首がほかとちがうものを一つ選んで、○でかこみましよう。
(20点×2)

① 「間・聞・関・開」

② 「安・客・寒・空」





漢字辞典じてんの使い方

組
番
名前

点

新学社

1 次の漢字辞典の使い方う。で調べられる漢字を、□から選えらんで書きましよう。
(15点×4)

① 総画そうかくさくいで「九画」を調べる。

(炭)

② 音訓おんくんさくいで「ワ」を調べる。

(和)

③ 部首さくいで「しめすへん」の部を調べる。

(社)

④ 音訓さくいで「ね」を調べる。

(根)

根 社 炭 院 守 和

2 □の漢字の中から、部首がほかとちがうものを一つ選んで、○でかこみましよう。
(20点×2)

① □ 間 · 聞 · 関 · 開 □

② □ 安 · 客 · 寒 · 空 □





漢字辞典じてんの使い方

組
番
名前

点

新学社



「湖」を漢字辞典で調べます。() に合う言葉を、 から選えらんで書かきましよう。

(20点×5)

- ① 部首はさんずいなので、部首さくいんの() 画のさんずいからか、() 画の水からページを調べる。同じ部首の漢字は、画数の少ないものから順しゆんにならんでいる。

- ② 音訓おんくんさくいんで調べるには、音読みおんよみの() か、または、訓読みくんよみの() でさがすとよい。

- ③ 総画そうかくさくいんの() 画からでも調べることができる。

二	三	四	五
十二	十三		
こ	みず	みずうみ	



漢字辞典じてんの使い方

組
番
名前

点

新学社



「湖」を漢字辞典で調べます。()に合う言葉を、 から選えらんで書かきましよう。

(20点×5)

- ① 部首はさんずいなので、部首さくいんの(三)画のさんずいからか、(四)画の水からページを調べる。同じ部首の漢字は、画数の少ないものから順しゆんにならんでいる。

- ② 音訓おんくんさくいんで調べるには、音読みの(こ)か、または、訓読みの(みずうみ)でさがすとよい。

- ③ 総画そうかくさくいんの(十二)画からでも調べる事ができる。

二	三	四	五
十二	十三		
こ	みず	みずうみ	



物語を読もう

組
番
名前
点

新学社



次の文章を読んで、下の問いに答えましょう。

(25点×4)

山のなかに、さるやさしかやおおかみやきつねなどがいつしよにすんでおりました。

みんなはひとつのあんどんをもっていました。紙ではった四角な小さいあんどんでありました。

夜がくると、みんなはこのあんどんに灯をともしたのでありました。

あるひの夕方、みんなはあんどんのあぶらがもうなくなっていることに気がつききました。

そこでだれかが、村のあぶら屋まであぶらを買いにゆかねばなりません。さてだれがいったものでしょう。

みんなは村にゆくことが好きではありませんでした。村にはみんなのきらいなりようしと犬がいたからであります。

「それではわたしがいきましよう」とそのときいったものがありました。きつねです。きつねは人間の子どもにばけることができたからであります。

そこで、きつねのつかいときまりました。

*あんどん……部屋の中におくちようちんのよ
うなもの。中にあぶらを入れて火をともした。
*りようし……動物のかりをする人。

(新見南吉「きつねのつかい」より)

① 動物たちはどんなあんどんをもっていましたか。

() でした

() あんどん。

② あんどんのあぶらがなくなっていることに気がついた動物たちは、どこへあぶらを買いにゆかねばなりませんか。

() 村の () 。

③ みんなは村にゆくことが好きではありませんでしたとありますが、なぜですか。

() 村には () 。

() から。

④ きつねのつかいときまりましたとありますが、なぜ、きつねがつかいとして村へゆくことになったのですか。

() きつねは ()



物語を読もう

組
番
名前
点

新学社



次の文章を読んで、下の問いに答えましょう。

(25点×4)

山のなかに、さるやさしかやおおかみやきつねなどがいつしよにすんでおりました。

みんなはひとつのあんどんをもっていました。紙ではった四角な小さいあんどんでありました。

夜がくると、みんなはこのあんどんに灯をともしたのでありました。

あるひの夕方、みんなはあんどんのあぶらがもうなくなっていることに気がつきました。

そこでだれかが、村のあぶら屋まであぶらを買いにゆかねばなりません。さてだれがいったものでしょう。

みんなは村にゆくことが好きではありませんでした。村にはみんなのきらいなりょうしと犬がいたからであります。

「それではわたしがいきましよう」とそのときいったものがありました。きつねです。きつねは人間の子どもにばけることができたからであります。

そこで、きつねのつかいときまりました。

*あんどん……部屋の中におくちょうちんのよななもの。中にあぶらを入れて火をともした。
*りょうし……動物のかりをする人。

(新見南吉「きつねのつかい」より)

① 動物たちはどんなあんどんをもっていましたか。
※完答

紙ではった

四角な小さいあんどん。

② あんどんのあぶらがなくなっていることに気がついた動物たちは、どこへあぶらを買いにゆかねばなりませんか。

村のあぶら屋。

③ みんなは村にゆくことが好きではありませんでしたとありますが、なぜですか。
※完答

村にはみんなのきらいな

りょうしと犬がいたから。

④ きつねのつかいときまりましたとありますが、なぜ、きつねがつかいとして村へゆくことになったのですか。

きつねは

人間の子どもにばけることができたから。



物語を読もう

組番
名前

点

新学社



次の文章を読んで、下の問いに答えましょう。

(20点×5)

山の神社におまいりに行ったおばあさんは、帰り道で、泣ないている赤んぼうを見つけて、家につれて帰りました。

二人は、その赤んぼうを育てることにしました。その子は女の子であったのです。そしてどうから下のほうは、人間のすがたでなく魚の形をしていましたので、おじいさんも、おばあさんも、話に聞いている人魚にちがいないと思いました。

「これは、人間の子じゃあないが……。」

と、おじいさんは、赤んぼうを見て頭をかたむけました。

「私も、そう思います。しかし人間の子でなくても、なんと、やさしい、かわいらしい顔の女の子でありませんか。」

と、おばあさんはいいました。

「いいとも、なんでもかまわない。神さまのおさずけなされた子ともだから、大事にして育てよう。きつと大きくなったら、りこうな、いい子になるにちがいない。」と、おじいさんももうしました。

その日から、二人は、その女の子を大事に育てました。

*もうしました……いいました。

(小川未明「人魚と赤いろうそく」より)

① 二人は、その赤んぼうを育てることにしました。とありますが、その赤んぼうはどんな様子でしたか。

・ どうか下のほうは、

ではなく

をしていた。

● その様子を見たおじいさんとおばあさんは、赤んぼうを何にちがいないと思いましたか。

にちがいない。

② おばあさんとおじいさんは、赤んぼうをどのような子だと思いましたか。それぞれ十二字で書きぬきましょう。

・ おばあさん

の女の子。

・ おじいさん

子ども。

③ 二人は赤んぼうをどのように育てましたか。漢字二字で書きぬきなさい。

に育てた。



物語を読もう

組
番

名前

点

新学社



次の文章を読んで、下の問いに答えましょう。

(20点×5)

山の神社におまいりに行ったおばあさんは、帰り道で、泣ないている赤んぼうを見つけて、家につれて帰りました。

二人は、その赤んぼうを育てることにしました。その子は女の子であったのです。そしてどうから下のほうは、人間のすがたでなく魚の形をしていましたので、おじいさんも、おばあさんも、話に聞いている人魚にちがいないと思いました。

「これは、人間の子じゃあないが……。」

と、おじいさんは、赤んぼうを見て頭をかたむけました。

「私も、そう思います。しかし人間の子でなくても、なんと、やさしい、かわいらしい顔の女の子でありませんか。」

と、おばあさんはいいました。

「いいとも、なんでもかまわない。神さまのおさずけなされた子ともだから、大事にして育てよう。きつと大きくなったら、りこうな、いい子になるにちがいない。」と、おじいさんもうしました。その日から、二人は、その女の子を大事に育てました。

*もうしました……いいました。

(小川未明「人魚と赤いろうそく」より)

① 二人は、その赤んぼうを育てることになりました。とありますが、その赤んぼうはどんな様子でしたか。

※完答

・ どうか下のほうは、

人間のすがた

ではなく

魚の形

をしていた。

● その様子を見たおじいさんとおばあさんは、赤んぼうを何にちがいないと思いましたか。

人魚

にちがいない。

② おばあさんとおじいさんは、赤んぼうをどのような子だと思いましたか。それぞれ十二字で書きぬきましょう。

・ おばあさん

やさしい、かわいらしい顔

の女の子。

・ おじいさん

神さまのおさずけなされた

子ども。

③ 二人は赤んぼうをどのように育てましたか。漢字二字で書きぬきなさい。

大事

に育てた。